

平成 30 年度 大阪府立高石高等学校

第 2 回学校運営協議会 記録

日 時 平成 30 年 9 月 8 日(土)

11:00 ~ 12:00

場 所 高石高等学校 校長室

1 開会の辞

2 校長挨拶

3 報 告

(1) 平成 30 年度の学校経営計画進捗状況 (校長)

① 新三研修 (新採 3 年目まで対象の研修) について

② 教員相互授業見学

授業アンケート結果のベスト 10 を公表し、授業見学実施を推進。

昨年度、委員からいただいた提言を活かし取り組んでいる。

③ 部活動の充実化

レスリング部・ボート部が、近畿大会・全国大会に出場し頑張っている。

吹奏楽部が地域へ特大の貢献。フォークソング部も地域貢献している。

サッカー部・バスケットボール部など、中学生招待・高石カップ大会実施。

④ 朝の読書

落ち着きを生むよい取り組み。効果大なので継続していく。

⑤ 進路保障

大学の入学定員適正化で合格数は伸び悩み、浪人増。しかし、夏休みも進学講習など頑張っている。就職希望者は 10 名で、全員第 1 希望企業を受験する。

⑥ 保護者との信頼関係

担任が保護者と連絡を取るときは、マイナスの事柄の場合が多くなってしまいがち。

ほめる機会も持てる普段の時にしっかりと保護者懇談している。

⑦ 地域交流

クラブ部員たちが積極的にボランティア清掃に参加。自転車マナーについては、苦情が寄せられることがある。

⑧ 中学校連携

受験者のいる中学校へは 2 回の訪問を実施。よい評価をいただけている。

⑨ 防災

11/5 に高石市合同津波避難訓練に参加する。

4 協 議

【委員】 体育祭のうちわを見せてもらった。広報で中学生に配ってはどうか

【学校】 今年、合同説明会などで配布した。予算の確保が課題である。

【委員】 中学の行事を活性化したい。文化祭を拝見し参考にさせていただく。

【委員】 授業アンケートのベスト 10 の先生の評価ポイントは、分かりやすさ？面白さ？

【学校】 主は分かりやすさ。十分な教材研究も。

【委員】 読書習慣定着のために、たとえ 10 分間でも読書することはとても大切。続けてほしい。

【委員】 保護者と平常のときに話をされることは良いことである。ほめることもできる。

【委員】 浪人が増えたとおっしゃるが、進路実現で良い結果を出していると思う。

【委員】 スマホの持込みは可か？スマホ利用で読書時間の確保ができないのではないか。

【学校】 スマホ持ち込みは可。授業中ロッカーにしまう。880 万人訓練などに活用。

【委員】 スマホ依存の高校生が増えていると聞く。自分もスマホで興味ある記事をついつい長時間見てしまう。指導できるのは学校しかないのでは、と感じる。

【委員】 スマホの弊害で、一定量の文章を読めない大学生が増えている。10 分間読書はとても大切。

【委員】 専門学校で、スマホを手放せず夜中も操作し続け、不登校になった生徒もいる。

【委員】 SNS にすぐに返信しないと仲間外れにされるので常にスマホを操作する、という人間関係が理由によるスマホ依存もある。

【委員】 辞書もスマホに依存せず、せめて電子辞書でも使えるようになってほしい。

5 校長謝辞

6 閉会の辞

7 連 絡

この後、文化祭見学。